

市長選挙が再選挙になりました

投票日は異議申出期間終了後に決定します

札幌市長選挙は、四月十三日に投票を終えましたが、当選人が決まりませんでした。これは、公職選挙法で、市長選挙の場合、有効投票総数（各候補者が獲得した票の合計数）の四分の一以上の得票を得た人が当選人になると定められているためです。

札幌市長選挙の場合、選挙期日は十四日前までには告示するよう定められていますので、選挙期日が決まり次第（五月一日（木）以降）、あらためてお知らせします。

【詳細】市選挙管理委員会事務局 ☎(21) 3247

市長の職務代理について

今回の市長選挙の有効投票総数は、七十九万六千四百十六票でした。そのため、十九万九千四百四票以上を得票した人が当選人になります。しかし、十七万二千五百十二票が最多得票だったため、当選人がいないという結果になりました。

このため、再び選挙を行うって当選人を決定することになります。

【職務代理者の表示】
札幌市長職務代理者
札幌市助役
佐々木 喜四

選挙期日（投票日）は、法で定められた異議の申出期間・手続きを経て、市選挙管理委員会決定します。

【詳細】行政部総務課 ☎(21) 2162

hot news

子供の自主性をはぐくむ体験型の新事業

● 大志塾(仮称)の実施に向け調査事業を行います

市では、市内の小中学生を対象としたアンケートや、他都市の調査結果などを基に、大志塾(仮称)の事業の実施に向けた準備を進めています。これは、子供たちの活動場所を設けて、集団での体験活動を通じ健全な育成を目指すもの。「子どもの権利条約」の実践や「札幌市青少年育成計画」の具体的な事業として、昨年度、大学生以下が中心となつた検討委員会で、事業計画を作成しました。

今年度は、引き続き調査事業として、小学生を対象にした「なんでも体験隊事業」を行います。活動場所として用意した土地で、「野菜を作りたい」「家を造りたい」など、子供たちが希望するものの実現に向け計画を立てるために、講師の協力を得ながら、仲間と一緒に取り組みます。

子供たち自らが計画することで、創造性や好奇心をはぐくんでもらうとともに、仲間との共同作業、成功や失敗などの体験から多くの事を学んでもらうのが狙いです。自然に触れることで、環境やまちづくりへの意識の向上につながることも期待されます。

今回の結果を基に、事業の運営体制などを検証し、今後の事業計画につなげていく考えです。募集要項については21ページをご覧ください。

【詳細】少年活動課 ☎(21) 2942

hot news

芸術の森野外ステージが生まれ変わります

● 来年7月のPMFは新ステージでの開催に

平成二年、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の開幕に合わせて設置した芸術の森野外ステージ。これまでのステージは、鉄骨テント張りの簡素なもので機能的に十分ではなく、傷みも進んできたことから、今年度建て替え工事を行っています。

新しいステージの広さは、現在の約二倍の約四百八十平方メートル、二百人規模の演奏が行える十分な広さを確保。音楽に限らず、さまざまなイベントにも対応できる多目的なステージとして生まれ変わります。特徴のある屋根は、五百人分のいす席を設置することができ、ステージ前まで大きく張り出しており、オーケストラなどの生の演奏音が伝わるように設計されています。

また、照明機材などの取り付けも可能です。このほか、楽屋部分は二階建てで、さまざまな広さの楽屋を九室設けるほか、出演者ロビー、備品収

納庫なども備えます。完成は来年三月の予定で、七月のPMFで使用できるよう、準備を進めていきます。

なお、今年のPMFの開会式はKittaraで行います(20ページ参照)。

【詳細】市民文化課 ☎(21) 2261



新設される芸術の森野外ステージ(南区芸術の森2)のイメージ図